



日本脳炎予防接種について

日本脳炎とは？

- 日本脳炎ウイルスによっておこる脳や脊髄の病気です。
- ウイルスをもったブタを刺したコガタアカイエ蚊が(水田や沼地などに発生)人を刺すことによって感染します。人から人への感染はありません。
- 突然の高熱、頭痛、嘔吐、意識障害及びけいれん等を主症状とします。ウイルスに感染した100～1,000人に1人が発症するといわれています。

地域性について

- 例えば、北海道などでは日本脳炎の予防接種は実施していません。しかし、沖縄県のように蚊が多く、ブタの感染率も高い地域では、予防接種を実施しています。

接種対象者について

- 日本脳炎は、H17年～21年度まで予防接種の通知が控えられてきました。
- H22年度より1期の通知、H25年度より2期の通知が再開されています。

1期： 通知対象者

- ・ 3～4歳（4歳児は1期初回を終了しおおむね1年経過した者）
- ・ 8～9歳（1期初回を終了しおおむね1年経過した者）
（平成17年4月2日～平成19年4月1日に生まれた者）

2期： 通知対象者

- ・ 18歳（平成8年4月2日～平成9年4月1日に生まれた者）

※H7年4月2日以降に生まれた方は、通知は届かなくても日本脳炎予防接種対象者です。
接種を希望する方は、健康増進課予防係 73-1978 までご連絡下さい。

ワクチンを接種したあとは？（副反応）

- 予防接種を受けた後30分間は、接種会場でお子さまの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- 副反応として、発熱、咳、鼻水、接種部位の紅斑などがあり接種後3日までにみられます。接種後、極めて稀にショック、アナフィラキシー様症状脳炎・脳症・けいれん・血小板減少性紫斑病などの注意が必要です。

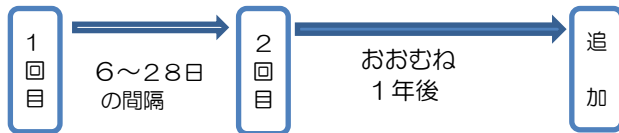
健康被害の救済制度

- 万が一、市町村の実施する予防接種で健康被害が生じた場合は、国の審議の下、予防接種法に基づく給付が受けられます。

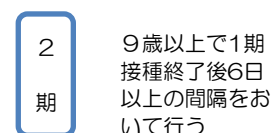
接種スケジュールについて

1期 初回（標準：3歳）

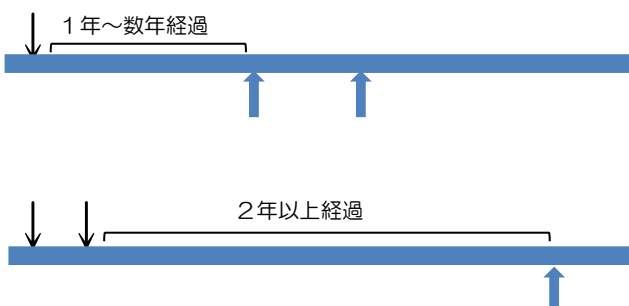
追加（標準：4歳）



2期（標準：9～13歳）



1期 スケジュール が途中の方



- 1期が初回のみで1年～数年が経過した場合

6日以上の間隔をおいて、残りの2回を接種

- 2回接種後2年以上経った場合

1回接種する